

大会規定関連及び審判部確認事項

大会規定関連(審判部遵守事項)

- 1 審査終了後、直ちに所定のメンバー表を審査部より受取り、各チームの監督・主将・球場責任者立会いのもと攻守を決定する。(本部役員指示のもと)
- 2 監督・主将にグラウンドルールを説明するとともに、注意事項をもう一度徹底する。
- 3 用具の点検は球場・天候などによって異なるが、シートノックをする場合、ベンチに用具が入った時点でシートノックをしていないチームから行う。
シートノックをしない場合は、資格審査をする際に審判員も立会い用具の点検を行う。
- 4 試合開始までに(遅くとも30分前)球場整備が整っていない場合は、球場責任者と相談し審判員もライン引きなど球場整備を手伝い、試合を行える状況にする責任がある。
- 5 4回終了時のグラウンド整備については、群馬支部では行うこととなっている。

審判部確認事項

- 1 試合においては当該チームのスタッフ・選手のみがグラウンドに入ることを許されるしたがって、次試合チームのブルペンでの投球練習は原則として禁止する
- 2 ボール回しは各イニングの投球練習後の捕手の二塁送球時のみとしアウトごとのボール回しは禁止する
- 3 頭部への死球は、当たった状況にかかわらず臨時代走を出す
(投手・捕手を除く最も打順が前位の選手)
- 4 シートノックを受けていないチームの選手はベンチ内で待機する
(ブルペンのバッテリー及び補助員を除く)
- 5 ブルペンで投球練習を行う場合は、ヘルメット・グラブ着用の補助員をつける
(コーチが補助員となる場合でも同様である)
- 6 野手の素振りにはベンチより外野方向で1名に限り許可する
- 7 野手のベンチ前でのキャッチボールは1組までとする